

事務事業名		大船渡市畜産公社運営事業		☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目			
	施策名	20 地域の特性を生かした農林業の振興							
	基本事業名	01 農業経営の安定化							
根拠法令				☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 昭和60 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		予 算 な し			
所 属	部課名	農林水産部 農林課							
	課長名	田中 聖一							
	係 名	農政係	電話 0192-27-3111						
	担当者	大友 崇志	内線 7122						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
・大船渡市畜産公社の事務局職員として、運営に関する事務用務を行う事業。大船渡市農協と市が共同で設立した第3セクター「社団法人大船渡市畜産公社」では、牧場経営を行い、畜産農家の夏期預託を実施することにより、夏場の生産者の労力を軽減している。これによって、農家では冬場の飼料生産が可能になり、冬場のえさ代負担も軽減できる。 ・公社事務局員は8名(兼務)で、事務局長(農協営農部長)、総務部長(市農林課長)、事業部長(農協畜産課長)、事業担当者2名(農協職員)、総務担当者3名(市職員)で組織されている。事務局は農協内に設置されている。公社の主な収入は牛預託料、運搬料等で、主な支出は看視員2名の給与、牧場の管理運営費等である。 ・総務を担当する市職員の主な業務は、総務的業務(予算決算事務、出納事務等)である。 ・人件費以外に市が負担する事業費は発生していない。						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	
								都道府県支出金	
								地方債	
								その他	
								一般財源	
								事業費計(A)	0
人件費	正規職員従事人数								
	延べ業務時間								
	人件費計(B)	0							
	トータルコスト(A)+(B)	0							

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	単位
清算総会開催		ア 夏期預託頭数	頭
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ 夏期放牧日数(5/16～11/27)	日間
なし		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
(直接の対象)		名称	単位
大船渡市畜産公社		カ 畜産公社決算額(歳出)	千円
(間接の対象)		キ 市内肉用牛飼育畜産農家数	戸
市内内外の肉用牛を飼育している畜産農家		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・夏期預託により、夏場の生産者の労力を軽減する。		名称	単位
・夏期預託により、冬場の飼料生産が可能になり、冬場のえさ代負担が軽減できる。		サ 1頭あたり平均夏期預託日数	日
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		シ 牛1頭当たり推定費用軽減額	千円
・安定して農業を営む。		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

			単位	年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	0	0	0	0	0	0
	事業費計 (A)		千 円	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	2	1	1	0	
		延べ業務時間	時 間	100	400	600	200	200	0	
		人件費計 (B)	千 円	400	1,600	2,400	800	800	0	
		トータルコスト(A)+(B)		千 円	400	1,600	2,400	800	800	0
⑤活動指標		ア	頭	140						
		イ	日間	196						
		ウ								
⑥対象指標		カ	千円	6,283	1,604	1,142				
		キ	戸	52	49	39				
		ク								
⑦成果指標		サ	日	107						
		シ	千円	44.88						
		ス								

事務事業ID	533	事務事業名	大船渡市畜産公社運営事業
--------	-----	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
・旧三陸町当時の昭和60年4月、畜産経営の合理化と農業労働の効率化を図り、もって、農業生産性の向上と畜産農家等の経営安定に寄与することを目的に社団法人三陸町畜産公社が設立された。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
公益法人制度改革により、既存の社団法人は、平成25年11月30までに、公益法人、一般社団法人または解散を選択せざる得なくなった。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
・特になし。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	・夏期預託により、夏場の畜産農家の労力軽減が図られ、農家では冬場の飼料生産が可能になり、冬場のえさ代負担の軽減も図られる。もって、畜産農家の経営安定が図られ、市の農業振興に結びつく。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	・大船渡市畜産公社は、市農協と市が共同で設立した第3セクターであり、畜産農家の経営安定を図り、市の農業振興を図るための事業であることから、関与は妥当。	
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	・夏期預託により、畜産農家の夏場の生産者の労力を軽減し、冬場の飼料生産を可能とする事業であり、対象、意図は妥当。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	・預託頭数を増頭できれば成果は向上するが、小規模の畜産農家が多く、現状では難しい状況である。増頭に向けた対策の検討が必要。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	・本事業の廃止は、畜産農家の過剰労働及び経営の悪化につながる恐れがあるが、公益法人制度改革により、解散せざる得なかった。 ・今後は市で放牧場の運営方法を検討し、畜産農家への影響が少ないよう対処していく。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	・社団法人大船渡市畜産公社は、平成25年11月19日に解散したため、今後は市で放牧場の運営方法を検討する。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	・事業費は計上されていない。人件費のみ。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	・畜産公社の事務局職員として、運営に関する事務を行うための最低限の人件費であり、削減できない。	
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	・牧場利用者は、牛預託料、運搬料を支払っており、費用負担は公正である。	

事務事業ID	533	事務事業名	大船渡市畜産公社運営事業
--------	-----	-------	--------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成25年11月19日の解散総会により、公社は解散したため、清算事務を行っていたが、26年度末で清算事務が終了し、平成27年5月27日の清算総会をもって事業の一切が終了した。																			
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☒ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☐ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) ・今後は、市内の畜産農家の経営に資するための方策を検討していく。		☒ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
☒ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上																																
	維持			×																													
	低下		×	×																													
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 放射能汚染の影響により、放牧場の運営が困難な状況にある。今後は、市内の畜産農家の経営に資するため、市による新たな事業展開並びに財政的支援が必要となる。																																	

4 事務事業の2次評価結果	(職 名) ※原則として施策の主管課長 (氏 名)
2次評価者	農林課長 田中 聖一

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 公社清算は適切に行われているが、その後の夏虫山・大窪山放牧場のあり方について、早急に検討する必要がある。																		
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☒ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☐ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 東京電力福島原発事故による放射性物質の影響で、夏虫山、大窪山、五葉牧野とも平成24年度の放牧事業を中止しており、できるだけ早期に市としての基本的方向を定めなければならない。		☒ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
☒ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上																																
	維持			×																													
	低下		×	×																													

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
